



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月1日

上場会社名 イーレックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9517 URL http://www.erex.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本名 均
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 花島 克彦 TEL 03 (3243) 1185
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,041	65.0	1,175	61.7	1,127	61.8	757	52.3
29年3月期第1四半期	5,478	12.1	726	315.6	697	383.8	497	393.6

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 Δ 789百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 446百万円 (412.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	15.05	14.88
29年3月期第1四半期	10.02	9.85

(注) 当社は、平成29年3月7日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
 前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	43,551	16,880	32.4
29年3月期	42,473	15,918	31.3

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 14,125百万円 29年3月期 13,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,345	61.5	4,492	27.1	4,512	40.2	3,020	57.6	60.06

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	50,580,000株	29年3月期	50,553,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	253,246株	29年3月期	253,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	50,318,754株	29年3月期1Q	49,614,000株

(注) 平成29年3月7日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算出しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、前連結会計年度以前から引き続き先進国・新興国ともに景気が緩やかに拡大し、総じて株高の状況にあります。一方、原油をはじめとした資源価格は依然として低水準で推移しております。

国内経済につきましては、株高や雇用環境の改善が続いておりますが、依然として個人消費は改善の兆候がみられない状況です。

当社グループが属する電力業界においては、高压分野での電力小売自由化に加え、平成28年4月から低压分野についても自由化され、電力小売完全自由化の2年目に入りましたが、依然として旧一般電気事業者のシェアが9割を超える状況が続いております。

当社グループも高压分野に加え、平成28年4月から低压分野における電力供給を開始しておりますが、平成29年4月からはイーレックス・スパーク・マーケティング株式会社及びイーレックス・スパーク・エリアマーケティング株式会社が四国エリアにおいて低压分野における電力供給をスタートしました。当社グループの電力供給施設数は、平成29年6月末時点において、高压分野では約10,700件、低压分野では約62,000件と電力需要が減少傾向にある中でも順調に伸びております。

また、発電事業につきましては、イーレックスニューエナジー株式会社の土佐発電所及びイーレックスニューエナジー佐伯株式会社の佐伯発電所が安定して操業しております。現在計画している岩手県大船渡市(大船渡発電株式会社)、福岡県豊前市(豊前ニューエナジー合同会社)におけるバイオマス発電所の建設計画についても引続き計画通りに進んでおります。

このような状況下で、当社グループの当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は9,041百万円となり、前年同期比で3,562百万円増加いたしました。主な要因は、高压分野・低压分野ともに収益性の高い顧客を順調に獲得できたことであります。

一方、売上原価が6,927百万円となりましたが、前年同期比で2,798百万円の増加にとどまっており、結果として売上総利益は増加しております。主な要因は、電力の供給施設数増加に伴い調達電力量は増加したものの、取引価格が低水準で推移している日本卸電力取引所から積極的に仕入を行ったことや、イーレックスニューエナジー佐伯株式会社の佐伯発電所が平成28年11月に商業運転を開始したことにより、再生可能エネルギー交付金を考慮すると安価な電力調達を実現できたことであります。

また、人員の増員や営業活動の増加に伴う代理店報酬の増加により、販売費及び一般管理費は938百万円となり、前年同期比で316百万円増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は1,175百万円(前年同期比61.7%増)、経常利益は1,127百万円(同61.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は757百万円(同52.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は16,209百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,366百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は27,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ283百万円減少いたしました。これは主に減価償却費によるものであります。繰延資産は20百万円となり、前連結会計年度末と比べ5百万円減少いたしました。これは株式交付費の償却によるものであります。

この結果、総資産は、43,551百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,077百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は10,132百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,097百万円増加いたしました。これは主に買掛金が増加したことによるものであります。固定負債は16,538百万円となり、前連結会計年度末に比べ982百万円減少いたしました。これは主に為替予約によるデリバティブ債務及び長期借入金が減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、26,670百万円となり、前連結会計年度末に比べ115百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は16,880百万円となり、前連結会計年度末に比べ962百万円増加いたしました。これは主に配当金の支払いが505百万円あったものの、為替予約による繰延ヘッジ損益が571百万円増加したことや親会社株主に帰属する四半期純利益757百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は32.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月9日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、平成29年5月9日に公表した業績予想は、同資料の発表日時点において当社グループが入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,973	8,108
売掛金	3,450	3,954
原材料及び貯蔵品	407	634
繰延税金資産	48	28
未収入金	3,407	3,151
その他	1,555	331
流動資産合計	14,843	16,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,639	3,574
機械装置及び運搬具（純額）	16,630	16,329
建設仮勘定	2,944	3,030
その他（純額）	102	104
有形固定資産合計	23,316	23,038
無形固定資産		
その他	1,669	1,657
無形固定資産合計	1,669	1,657
投資その他の資産		
投資有価証券	435	435
関係会社株式	1,390	1,387
繰延税金資産	233	240
敷金及び保証金	457	457
その他	117	126
貸倒引当金	△15	△21
投資その他の資産合計	2,619	2,625
固定資産合計	27,605	27,321
繰延資産		
株式交付費	25	20
繰延資産合計	25	20
資産合計	42,473	43,551

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,204	3,533
短期借入金	3,300	3,300
1年内返済予定の長期借入金	1,389	1,616
未払法人税等	777	375
賞与引当金	53	32
役員賞与引当金	2	1
その他	1,307	1,271
流動負債合計	9,034	10,132
固定負債		
長期借入金	11,594	11,183
退職給付に係る負債	11	11
資産除去債務	2,731	2,733
繰延税金負債	533	522
役員報酬BIP信託引当金	54	64
デリバティブ債務	2,163	1,592
その他	432	430
固定負債合計	17,520	16,538
負債合計	26,555	26,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,139	5,142
資本剰余金	4,526	4,529
利益剰余金	6,020	6,272
自己株式	△226	△226
株主資本合計	15,460	15,718
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△2,163	△1,592
その他の包括利益累計額合計	△2,163	△1,592
非支配株主持分	2,621	2,755
純資産合計	15,918	16,880
負債純資産合計	42,473	43,551

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,478	9,041
売上原価	4,129	6,927
売上総利益	1,349	2,113
販売費及び一般管理費	622	938
営業利益	726	1,175
営業外収益		
受取利息	1	1
受取手数料	1	1
その他	0	0
営業外収益合計	3	3
営業外費用		
支払利息	26	37
支払手数料	2	5
持分法による投資損失	—	2
その他	4	5
営業外費用合計	32	50
経常利益	697	1,127
税金等調整前四半期純利益	697	1,127
法人税、住民税及び事業税	255	322
法人税等調整額	△4	2
法人税等合計	250	324
四半期純利益	446	803
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△50	46
親会社株主に帰属する四半期純利益	497	757

（四半期連結包括利益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）
四半期純利益	446	803
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	△1,592
その他の包括利益合計	—	△1,592
四半期包括利益	446	△789
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	497	△835
非支配株主に係る四半期包括利益	△50	46

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。